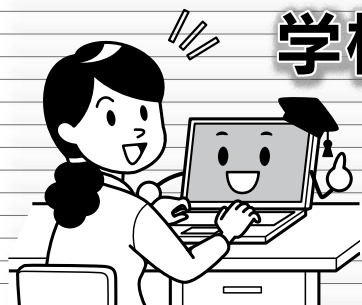


新連載

先生のための

学校情報リテラシー入門



第2回

ウイルスとセキュリティの問題①

山形大学基盤教育院 准教授 加納寛子

ウイルス作成ソフトSharK

第1回では、タコイカウイルスの流行について書きましたが、最近では、プログラミング言語を知らなくても、マウスでクリックするだけでウイルスが作成できてしまうウイルス作成ソフトが出回っています。SharK(シャーク)などのウイルス作成ソフトでは、作成したいウイルスの機能にチェックを入れるだけで完成し、それをネット上に置くだけで、多くの人に感染させることができます。マウスをクリックさえできれば、小学生でも簡単にウイルスが作成できる時代なのです。

ウイルス作成ソフトで作成できるウイルスは、トロイの木馬型のものが多く、OS(オペレーティングシステム)やアプリケーション、ファイアウォールの設定を変更し、外部からの接続が可能となり、パソコンが乗っ取られるのです。多くの場合は、キーロガーと呼ばれる、キーボードの入力情報を転送する機能を備え、クレジットカードの番号などが漏洩してしまうのです。

しかも、容量の小さなソフトなので、キャラモノ画像や動画などに埋め込まれても、怪しまれることなく、配布されてしまいます。ウイルス対策ソフトがインストールされていれば、トロイの木馬は駆除できますが、パソコンのメンテナンスなどで、ウイルス対策ソフトを無効にして操作をしている隙に入り込んでしまうこともあります。一度入り込んで

しまうと、ウイルス対策ソフトを自動的に無効化してしまう場合もあり、気がつかない間に、キーロガーが動作してしまっていることもありますので、常にウイルス対策ソフトのファイルを最新にしたり、最新セキュリティ情報を「定期的にチェックする」にしたりするなどのセキュリティ対策は重要です。

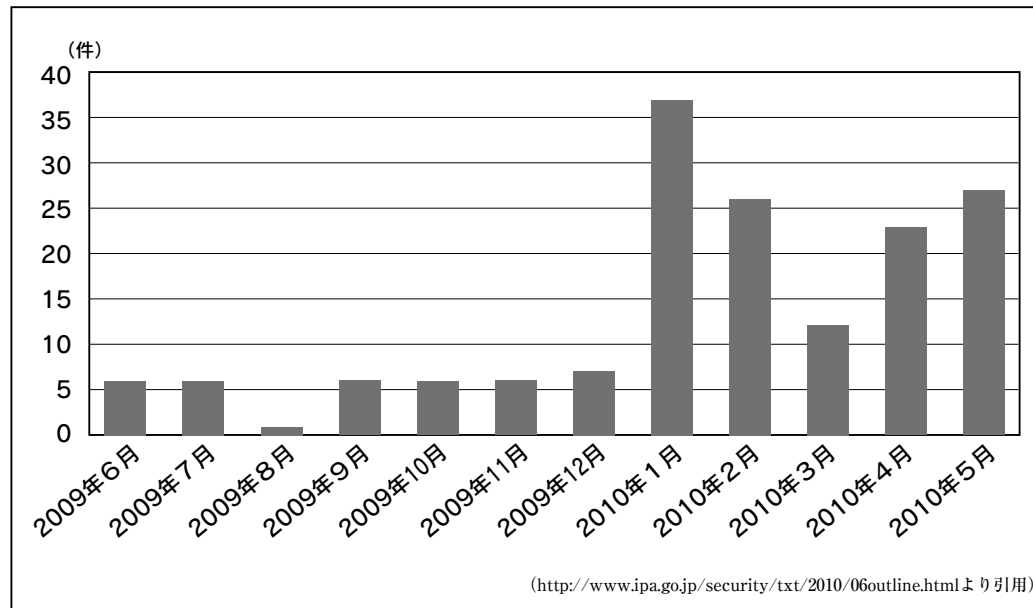
偽セキュリティソフト

セキュリティ対策は重要とはいっても、複数台パソコンを持っていたりすると、対策ソフトにかかる経費も大きくなります。世の中には、無料のソフトウエアが氾濫していますから、つい、無料のセキュリティ対策ソフトを見つけると、疑いを持たずに、インストールしてしまう人がいるようです。

情報処理推進機構によれば、「Security essentials 2010」「XP Smart Security 2010」などの偽セキュリティソフトが最近増えているようです(図1)。



図1「偽セキュリティ対策ソフト」型ウイルスに関する相談件数



(<http://www.ipa.go.jp/security/txt/2010/06outline.html>より引用)

ネットサーフィンをしているときに、「最近ではガンブラーなどのウイルスが流行っています。あなたも、まず無料でチェックしてみませんか?」というようなメッセージを表示させます。試しに「無料でチェックする」をクリックすると、Cドライブなどをチェックし始めます。チェックするふりをして、パソコン内の重要な情報を吸い取ろうとする場合もありますし、「あなたのパソコンはウイルスに感染しています。至急、有償版による対応が必要です」などといった虚偽の警告メッセージを表示し、クレジットカード番号の入力を要求し、金銭を騙し取るタイプのウイルスもあります。

被害の中には、パソコンが起動しなくなったり、セーフモードで起動しても、偽セキュリティソフトの画面が表示されて、 ボタンをクリックしても閉じることができなくなってしまう、などの障害が起きることもあります。

やはり、ただより高いものはないという認識が必要です。

CSRF(クロスサイト・リクエスト・フォージェリ)

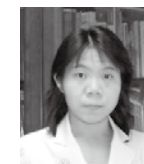
これは、パスワードで管理されている校

内掲示板の内容が、勝手に外部サイトに公開されてしまった、というようなときに起きている問題です。CSRFとは、Cross-Site Request Forgeriesの略で、Forgeriesとは偽るという意味です。

IDとパスワードを入力し校内掲示板にログインした状態で、悪意の罠の仕掛けられているWebサイトを閲覧すると、閲覧している間に、ログイン情報が攻撃者のもとへ送られてしまうのです。

ゲームサイトにログインしている状態で、悪意の罠の仕掛けられているWebサイトを閲覧すれば、ゲームのアイテムがいつの間にか盗まれてしまう被害に会うでしょうし、ネットショッピングにログインした状態で閲覧すれば、勝手に購入されてしまうかも知れません。定評の高い正規のウイルス対策ソフトの導入、最新ファイルへの更新は、絶対に欠かせないでおこなうことが肝心です。

●執筆者紹介● 加納寛子(かのうひろこ)



山形大学基盤教育院准教授。専門分野は教育工学、科学教育。情報リテラシー、情報モラルを研究。『即レス症候群の子どもたち ケータイ・ネット指導の進め方』(日本標準刊)等執筆。